

平和台図書館 図書館利用者懇談会

- 1 日時 令和7年11月2日（日）第一部：14時～15時 第二部：15時15分～16時
- 2 場所 第一部：平和台図書館 3階会議室 第二部：平和台図書館 1階ロビー
- 3 出席者 利用者 16名（第一部：16名 第二部：10名）
図書館 4名
（平和台図書館長、副館長2名、児童青少年サービス担当チーフ）
- 4 テーマ 第一部：「平和台図書館の事業報告と展望
―理想となる地域連携を目指して―」
※図書館関連団体や近隣施設を主な対象として
情報共有および連携に関する意見聴取を目的とする。
第二部：「いっしょに考えたい！平和台図書館活用法」
※個人利用者を主な対象として、
具体的な図書館サービスについての意見聴取を目的とする。
- 5 配付資料 （1）懇談会次第（第一部用）
（2）練馬区教育要覧 令和7年版（図書館部分抜粋）
（3）これからの図書館構想（令和4年11月策定）の概要
（4）『へいわだいだより（一般向け広報誌）』令和7年11月号
（5）令和7年度 練馬区立図書館利用者アンケート
- 6 次第 第一部
（1）平和台図書館長挨拶
（2）図書館職員の自己紹介
（3）図書館事業報告と懇談
第二部
（4）懇談
（5）平和台図書館長挨拶

平和台図書館利用者懇談会 会議録

[第一部開始]

1 平和台図書館長挨拶

それでは定刻となりましたので、平和台図書館利用者懇談会を始めさせていただきます。皆様よろしくお願ひいたします。いつもお世話になっております。平和台図書館館長です。来年度平和台図書館は開館50周年を迎えます。日頃から皆様には連携事業等でご協力を頂いておりますが、その関係をより強化し、皆様の地域課題解決に資する図書館運営を目指してまいりますので、引き続きよろしくお願ひいたします。

ここからは着座にて失礼いたします。

今回の懇談会も二部構成です。第一部は午後3時までの1時間この会議室で実施します。地域団体の皆様との事業連携についての報告と今後の提案について、団体ごとにお話しさせていただきます。その際に各団体の皆様にお話を振りますので、自己紹介およびご意見をお話しただけならと思います。今回も一般参加の皆様にもたくさん参加頂いていますが、第二部は午後3時15分から1階のロビーに会場を移し実施します。図書館の個人利用についてのお話、こんなサービスがあったらうれしいな、などは第二部で伺いますのでよろしく願いいたします。

本題に入る前に、まずは事務連絡をさせていただきます。練馬区立図書館全12館1分室の懇談会の会議録、いただいたご意見の概要、参加者アンケートの結果は、後日、個人名などを伏せた形で図書館ホームページにて公開させていただきます。そのため本日の懇談会の発言を録音させていただきますので、あらかじめご了承ください。よろしく願いいたします。

また当懇談会では練馬区立図書館全体に関する質問など、その場ではお答えしかねる場合もございますのでご了承ください。11月20日に光が丘図書館で午後3時から「これからの練馬区立図書館サービスについて」のテーマで懇談会が開催されます。よろしければそちらもご参加ください。

2 図書館職員の自己紹介

館長以外の図書館職員も自己紹介を行う。

図書館職員：副館長（一般向け・障害者向け事業担当、研修担当）
副館長（予約担当、電算担当、テーマ展示担当チーフ）
館長代理（児童青少年サービス担当チーフ）

3 図書館事業報告と懇談

※平和台図書館の歴史・各団体との連携事業をスライドでお示ししながら進行する。

図書館 それでは次第にそって進めさせていただきます。まずは「平和台図書館の歴史」についてお話しさせていただきます。スライドでご覧になっているこちらの写真は、開館当時の平和台図書館の写真です。周りに畑が広がるのどかな風景で、記念誌の表紙から紹介させていただいております。平和台図書館は1976年に開館します。1972年にこの地域に公立図書館の建設を求める請願が練馬区議会に提出されます。図書館建設を求める住民運動をきっかけにして、1976年に開館しました。その後2015年6月に大規模改修工事を行い、2016年4月から再開館し、現在の建物での運営に至っております。練馬区内では12館と分室、受取窓口があるなかで、平和台図書館は3番目に開館した図書館であります。そんな中、来年度は記念すべき開館50周年の節目を迎えます。皆様よろしく願いいたします。

それでは、ここから各団体の皆様にお話しを伺いながら、事業報告をさせて

いただきます。まずは図書館関連団体の皆様との連携についてです。平和台ブックスタートの会様、ブックスタートの事業についてお話しただけならと思います。よろしく願いいたします。

利用者 平和台ブックスタートの会です。ブックスタートの会というのは、練馬区のブックスタート事業のお手伝いをする団体ですが、各館に存在します。平和台図書館では月3回ブックスタートを実施しています。現在会員は13名います。スライドでお示ししているとおり、赤ちゃんに絵本をプレゼントしてただ絵本を読んでください、で終わるのでなく、シェアブックの精神で絵本を介して親子で楽しい時間を持ってほしいという想いで活動を行っております。

図書館 平和台図書館のブックスタートは例年参加者数が多く、特に日曜日などはお父さん連れの姿が増えてきているそうですね。

利用者 はい。そうですね。平和台図書館は多いですね。

図書館 少し前の話になりますが（令和4年度）、ブックスタート事業20周年巡回展示を2階の通路展示スペースで実施したり、令和5年度には「子供の読書活動優秀実践団体に対する文部科学大臣表彰」を受賞したりするなど、活発に活動されています。

利用者 そうですね。練馬区のブックスタートの会全体に対する表彰ですね。

図書館 お話ありがとうございました。ねりまおはなしの会についても、続けてお話しただけならと思います。

利用者 ねりまおはなしの会は、絵本をよみかせるのではなくて、昔話などを本を使わずに語るストーリーテリングの勉強会です。会員は60名以上います。練馬区は広いので、会員がそれぞれの地域を担当しています。私の場合は、平和台図書館と平和台児童館の学童クラブで活動をさせていただいております。

図書館 平和台図書館では、年に1回、手話付きのおはなし会を実施しています。ねりまおはなしの会の皆様と、手話通訳者の方を招いて行う障害の有無に関わらずみんなで楽しめるストーリーテリングです。写真は令和6年12月の様子です。今年度は令和8年1月の実施を予定しております。

利用者 よろしければ、皆様ぜひご参加ください！

図書館 平和台図書館では、来年度50周年を記念した記念誌の発行を計画しております。ねりまおはなしの会の皆様の活動紹介・会の皆様からのコメント掲載なども計画しておりますので、ご協力よろしく願いいたします。

図書館 続いて、布で絵本を作る会たんぽぽ様の活動紹介です。本日は日程の都合がつかず会の皆様は欠席ですので、代わりに当館児童青少年サービス担当者からお話しさせていただきます。

図書館 週に1回、こちらの会議室に集ってもらい、図書館で所蔵する布の絵本の製作・補修を行ってもらっています。見本として紹介するのは『はらぺこあむし』ですが、このような皆様をご存じの絵本原作などを触感も楽しめるよ

うな布の絵本の形態にして作品を制作してもらっています。布の絵本は、どなたでも楽しめるよう、こどもコーナーの絨毯敷きのおはなしコーナーにご用意しています。また季節感を楽しめるタペストリーも併せて制作してもらっています。

図書館 今はお月見のタペストリーでしょうか。

図書館 ちょうど11月に入り、変更されています。

図書館 左様でしたか。失礼しました。10月はお月見のタペストリーでした。ちなみにお手元の次第に掲載されている犬のキャラクターは平和台図書館の公認キャラクター「へいわんクン」です。図書館からの提案としまして、そのキャラクターをモチーフにした布の絵本作品の制作をたんぼぼの皆様をお願いしたいと計画しているところです。

図書館 続いて近隣の公共施設の皆様との連携についてです。まずは平和台児童館についてです。直近の連携事例だと、平和台図書館を紹介するワゴン平和台児童館の工作室に設置してもらい、平和台児童館を紹介するワゴン平和台図書館の会議室に設置し、相互の利用促進を図っております。会場後方に実際に置いているワゴンを展示しております。内容は告知用配布物の陳列と、児童館の場所を示した地図の掲示です。それでは児童館館長様よろしくお願いたします。

利用者 平和台児童館館長です。平和台児童館に設置している平和台図書館の紹介ワゴンは中高生に向けたものです。平和台図書館でも会議室開放の際のワゴンは、中高生向けに設置しているかと思いますが、児童館を利用している子たちの中でも、図書館を利用している子たちがいまして、図書館のチラシを手にとったり、閲覧席開放カレンダーを見たりと静かにゆったりと認知されている様子が伺えます。

図書館 平和台図書館を利用される方からも、児童館から来た、これから行くという声もよく耳にしますので、引き続き相互の利用が増えるよう意識していきたいですね。

利用者 そうですね。子どもたちが児童館で遊び、その1時間をお母さんたちが図書館で本を読んで時間を過ごし、児童館に迎えに来るという時間の使い方もされているようです。今後ともよろしくお願いいたします。

図書館 こちらこそよろしくお願いいたします。

図書館 続きまして平和台体育館の皆様との連携についてです。例年、平和台体育館で実施している体育館を使っていない人向けのアンケートの配布回収について平和台図書館内でも協力させていただいております。また体育館イベントの告知に協力しています。スライドでご覧になっているのは、「ゴールボール」の体験イベントの告知ポスターです。それでは平和台体育館館長様よろしくお願いたします。

利用者 平和台体育館の館長です。着任以降、平和台図書館長とは長くお付き合いさせ

ていただいております。お互いにアンケートや、体育館イベントの周知において協力を頂いています。ご紹介のあった今月16日の視覚障害者スポーツであるゴールボールの体験イベントでは、参加者に視覚障害を体験してもらうためにアイマスクを使いプレーしてもらいます。

平和台図書館は場所がわかりづらいのか、平和台体育館に平和台図書館の場所を尋ねてくる方がよくいらっしゃいます。体育館を中継地点にして、スムーズに案内できるよう努めています。

また私共の体育館では卓球とかバドミントンの個人利用を行っています。お子様は無料で利用できます。その待ち時間の活用に、「ゲームばかりしていないで、児童館で遊んでおいで、図書館で本を読んでおいで」と案内すると、「近いので行ってみる」という感じで子どもたちの反応は良いですね。

今後も3館で連携できればと考えています。なかなかスポーツに足が運ばないこととは思いますが、そういった方でもトレーニングルームだとかプールもごさいますので、ぜひ利用頂ければと思っています。今後ともよろしくお願いたします。

図書館 こちらこそよろしくお願いたします。

図書館 続いて地域のサークル団体・研究会との連携についてです。毎月1回、この会議室で短歌の研究会を催されている氷川台歌話会の代表の方に出席いただいております。よろしくお願いたします。

利用者 氷川台歌話会です。氷川台歌話会は、はじめ氷川台地区区民館で活動していましたが、この地区区民館はお子様の利用が多く、より静かに利用できる平和台図書館で10年以上活動を行っています。私たち氷川台歌話会は新炎短歌会に属しています。新炎短歌会は北大泉や石神井にも部署がありますが、歴史は60年に及びます。60周年になり初代の先生は99歳でご逝去されました。2代目の先生も3年前に94歳でご逝去されました。私たち氷川台歌話会も高齢化していますが、この部屋を無料で定期的に提供いただき大変助かっています。明日開催される歌人の東直子先生のイベントも毎年楽しみに参加させていただいております。ロビーでの作品展示なども実施いただき、本当に助かっています。少しずつ高齢になってきたので、活動継続が難しいかな、と感じることもあります。なかなか会員が増えないので困っているところなのですが…。長い間活動場所を提供いただいたことに、この場を借りて御礼を申し上げます。

図書館 ありがとうございます。今お話がありましたが、氷川台歌話会様の短歌作品のロビー展示はまた実施できたらいいな、と思っています。前向きに検討いただけますと幸いです。また会員募集については、図書館を活用するも一手かと思っておりますので、遠慮なくお申し付けください。引き続きよろしくお願いたします。

図書館 続いて今回は出席されていませんが、北町旧跡研究会との連携についてです。

同団体と連携し、練馬区の無形民俗文化財の「ちがや馬飾り」の制作ワークショップを毎年実施し、今年で8回目を迎えました。その制作技術保持者は練馬区内では現在2人しかいない、という状況です。その後継者候補の育成、伝統文化財の周知を目的として、毎年事業を実施しています。実はちがやは、平和台図書館の敷地内でも結構生えています。皆様もご覧になっているかと思います。なかなか根が強い草で、除草作業の際は骨を折っている思い出の草でもあります。そんな身近なちがやを活かした飾りを神社に奉納する歴史がこの地域には残っています。しかしながら、高齢化と後継者不足により存続が危ぶまれているという話も聞いておりますので、地域の図書館がソフト面・ハード面で伝統文化の継続をサポートできたら…、と考えているところです。

図書館 続いて近隣町会との連携についてです。平和台一丁目町会様よろしくお願いたします。

利用者 平和台一丁目町会の役員です。どちらかという、一般参加の感覚で参加してみたらどうか、と町会長から誘っていただき出席しています。平和台一丁目町会主催の3年に1度のお祭り「ふるさと祭り」には、平和台図書館の方にも参加いただき、紙芝居などを行ってもらっています。

平和台一丁目町会でも、高齢化が進んでいます。若い世代の会員加入を目的に、若いお子様連れの世代を対象として子ども向けのイベントを計画しています。今年は初めての試みでハロウィンイベントを計画しました。仮装をして集まって町内を歩いて、お菓子をもらうという内容を計画しました。残念ながら当日25日が雨になってしまい、区民館を活用して、にぎやかにゲーム大会などをしました。今後は図書館の会議室などもイベント実施などに活用したく、考えています。図書館と色々連携してやっていきたいと思っております。よろしくお願いたします。

図書館 ありがとうございます。お見せしているスライドは、昨年実施した「ふるさと祭り」の様子です。設営段階からお手伝いさせていただきました。図書館のロビーを使って、お祭りなど町会活動を周知する展示の他にも、副会長とは少しお話しさせていただいているのですが、今後の提案として、昔の平和台の写真を図書館が預かり、ロビーに展示し、開館50周年を祝う企画展示も実施したく考えております。これから始める取組ではありますが、引き続きご協力の程よろしくお願いたします。

図書館 ここで宣伝になってしまうのですが、図書館のイベントを紹介させてください。来週11月9日に「街角文化財を追う！へいわんクン散歩」という街歩きイベントを実施します。庚申塔など近隣の文化財について専門家の話を交えて学び、お寺では住職から貴重なお話を聴くなど、魅力的なイベントです。ご興味のある方は、絶賛受付中ですので、参加お申込みください。

図書館 続きまして、仲町五丁目町会様よろしくお願いいいたします。次第の参加団体の一覧に記載はございませんが、急遽ご出席いただけるということとなりました。ありがとうございます。それでは会長よろしくお願いいいたします。

利用者 せっかくの機会ですので、よろしくお願いいいたします。転入された方は、「仲町五丁目」という名称を不思議に思うかもしれませんが、現在の平和台1丁目から4丁目の一部と早宮2丁目の全域が当町会の管轄です。現在だいたい世帯数が減ってしまい、741世帯から710世帯まで30世帯ほど減ってしまいました。色々な事情で会員が減っていくのですが、役員の活動が重荷になっての退会というケースが多いです。昨日も、ご主人が目が不自由な方で、介護に専念したい、という理由で退会された方もいらっしゃいました。身内の方の世話が理由であれば、これはやむを得ないことです。いつでも復帰してください、と送り出しました。

また仲町五丁目町会は、開進第一小学校を会場に、8月22日・23日に盆踊り大会を実施し、2日間で7600人の参加者に恵まれました。今までは2日間で10000人参加が、コロナ禍を境に減少し、今回は7600人の参加でありました。開進第一小学校は校舎回収工事のため、来年・再来年は会場として使用できない、というお話を伺っていますので、規模を縮小してどうにか実施できないかと考えています。以上でございます。ありがとうございます。

図書館 会長、ありがとうございます。

図書館 続きまして、都立公園・行政機関との連携を紹介いたします。都立城北中央公園のセンター長様よろしくお願いいいたします。

利用者 都立城北中央公園です。よろしくお願いいいたします。ここまで歩いて15分という近い距離でございます。城北中央公園は皆様もいらっしゃるがあると思いますが、東京ドーム5個分の敷地で、運動公園であると同時に防災公園でもあります。有事の時は、近くの自衛隊のヘリの基地になったりします。平和台図書館とは毎年事業連携しております。今年は12月13日に、都立城北中央公園・練馬消防署との共催で、「防災フェア」という名称でイベントを行います。図書館の皆様には毎年青空の下、防災をテーマにした紙芝居を行ってもらい、子どもから高齢者まで幅広い世代の参加者の方に楽しんでもらっています。防災に限らずに、ご近所でありますので、今後とも交流を図りたいと考えています。よろしくお願いいいたします。皆様方も何かございましたら引き続きよろしくお願いいいたします。

図書館 ありがとうございます。今年も防災紙芝居、私も参加させていただきますが、楽しみにしております。自転車に紙芝居を載せてまいりますので、よろしくお願いいいたします。

図書館 練馬消防署さまとは、令和7年8月から9月にかけて応急救護・防災に関する展示を行いました。ロビーに設置したミニ消防車は、子どもたちにすごく人

気で、撤去した日に「もう無くなっちゃったの？」という声を頂くなど、大きな注目を集めたロビー企画展示となりました。その他、小さなお子様をお持ちの保護者を対象に、消防署の皆様を講師として招き応急救護体験イベントをこちらの会議室で実施しました。その際は消防団の皆様にもご協力を頂きました。またイベント当日は消防車を図書館前に展示してもらい、フォトスポットとして開放し好評を博しました。展示とイベントがうまく連動した企画であったと考えています。

図書館 平和台の地域特性として、東京少年鑑別所の存在が挙げられます。氷川台に所在している法務省管轄の施設なのですが、図書館とも連携して事業を行っています。例えば、図書館で除籍した資料を提供したり、団体貸出という形で図書館の蔵書を提供したりしています。団体貸出は具体的には、日本語を母語としない入所者に対し、今回は英語とスペイン語でしたが、図書館資料を提供することで、読書活動が困難な状況にある青少年世代に対して、活動支援を行いました。平和台図書館の特徴的な取組のひとつです。

図書館 続きまして、医療と介護の相談窓口、高齢者施設との連携についてです。北町地域包括支援センター様よろしくお願いたします。

利用者 北町地域包括支援センターから参りました。生活支援コーディネーターをしております。北町地域包括支援センターでは、「街かどケアカフェ」事業で、こちらの会議室をお借りし、各回テーマを決めて、事業を実施し、各回15名～20名程度のご参加を頂いております。次回12月には、レクリエーションを介して図書館サービスを体験する会を、図書館職員の方に出演してもらい、実施します。参加者の皆様の反応ですが、募集開始して締切よりだいぶ早い段階で定員に達しています。ケアカフェは地区区民館などでも実施していますが、図書館は大変参加しやすい、との声を頂いております。別会場で実施している内容も「図書館ではやらないの？」と相談を受けたりします。図書館は地域の方にとって、とても身近な存在なのだな、というのを日々感じております。以前館長に相談させていただきましたが、近隣で認知症の方々のミーティングを実施していますが、参加者の方々から、図書館会場だとすぐ行きやすいのだけど、という声も頂いております。来年度以降改めてご相談させていただければ、と考えています。

図書館 ご提案ありがとうございます。

図書館 北町はるのひ地域包括支援センターさんよろしくお願いたします。
利用者 北町はるのひ地域包括支援センターから参りました。圏域が早宮・氷川台などで、平和台は圏域外ではあるのですが、錦・平和台地域の方々も、当センター常設のケアカフェをよく利用をされています。「いま図書館に行って、こっちに来たところなんだよ」というお声も頂いたりしています。図書館とは色々な連携をとって企画していけたらいいな、と思っているところです。先

日も図書館を利用する福祉ケアが必要に思われる利用者の方の情報を提供いただくなど、日頃より連携を図っています。

北町はるのひ地域包括支援センターは、丸亀製麺の裏にあります。どちらかという春町寄りにあります。北保健相談所と北町はるのひ児童館が入っている複合施設の中に、センターは所在していて、常設ケアカフェを運営しています。高齢者の居場所としてのケアカフェでは介護予防を目的としたイベントや講座を実施しています。その周知用配布物を図書館で配布してもらう等ご協力をお願いしています。今後、近隣の方々と連携して運営してけたらと思っていますので、ご協力よろしくお祈いします。

図書館 センターさんではたくさんイベントを実施している中で、図書館からスタッフが赴いて、図書館サービスを提供する取組もしていきたいと考えております。よろしくお祈いいたします。

図書館利用者 続きまして、平和台介護老人保健施設アバンセさん、よろしくお祈いします。ご紹介に預かりました平和台介護老人保健施設アバンセです。事務を担当しております。介護老人保健施設ということで、基本的にこちらの施設は、ずっと入居できるという施設ではありません。病院から退院されて、自宅に戻るまでのあいだ、基本的にはリハビリテーションを中心として支援する施設となります。入所は150名、通所は40名。その他、居宅支援事業所、訪問リハビリテーションの事業を行っています。平和台図書館との関係でいいますと、ふだん入所・通所されている方々に対してのレクリエーション企画などに図書館資料を活用したりしています。今後も利用者の要望に沿った、連携をしたいと思っておりますので、都度相談させていただきます。

図書館 すぐお近くですので、図書館広報誌の「へいわだいだより」を毎月持参し、利用者の方に楽しんでもらっています。またよみきかせ・紙芝居など高齢者向けの図書館サービスも、可能であれば提供したいなと考えているところです。

図書館 仲町五丁目町会会長様のお話では視覚障害の元会員の方の話もありましたが、ここで私共の対面朗読室の紹介をさせていただきます。練馬区の視覚障害者サービスの一環で、登録が必要なものです。朗読ボランティアによる本の朗読を提供します。平和台図書館は、立派な施設を有していながら、なかなか活用まで至っていないというのが現状でして、ぜひ皆様も、サービスの対象となる可能性のある方のご紹介を頂けましたら幸いです。もちろん障害者の方にとっては来館するまでが大変である、ということは存じ上げておりますが、せめてサービスの存在は知ってもらいたいと思っております。ぜひお話をもち帰っていただき、サービスの周知にご協力いただけたら助かります。よろしくお祈いします。

図書館 続いて、近隣農家との連携です。11月15・16日に光が丘公園で「全国都市農業フェスティバル」が開催されます。16日のトークライブに出演される予定の

平和台近隣農家様を「へいわだいだより」で紹介しました。江戸時代中期から平和台で農業を続けてきたという家系で、伝統の野菜作りにも情熱を注いでいます。現在、練馬大根を約1000本生産しています。フェスティバルのトークライブにも、ぜひご興味のある方はご参加ください。

図書館 最後に障害者施設との連携についてです。平和台図書館では、1階ロビーで、近隣の就労支援施設や福祉作業所など障害者施設の生産品の展示販売会を実施しています。「交流の輪」という名称で、地域の皆様に親しまれています。ご覧のスライドは、令和7年度の様子で、田柄福祉園様と愛輪の里雅錦様の販売会の様子です。また近隣だけでなく、練馬区大泉に所在するかたくり福祉作業所様とも連携し、11月中旬から1階ロビーで「かたくりアート」と言われるイラストの企画展示会を計画しています。このように1階ロビーを地域交流スペースとして活用する運営を目指しております。第二部ではそのあたりについても、皆様からご意見を頂けましたら幸いです。

図書館 以上で団体の皆様からのお話は伺いました。お時間が少しございますので、ここで一般参加の方からも、今回の話を受けてのご意見をいただければ幸いです。いかがでしょうか。

利用者 私はここではボランティアでよみきかせをさせていただいているのですが、その他の活動で、「ねりまふるさと紙芝居」というものを作っている者です。私共は、石神井を基盤に活動を開始しましたので、どうしても石神井近辺のお話が多かったのですが、少しずつ作品数も増え、今では練馬区内全域にまたがるようになってきました。来年あたりは練馬の大根だとか、北町地域のお話も作成したいと考えていましたので、今回は地域の方々と図書館の方々と何か連携できる芽があるのかどうかちょっと今日は探りに来させていただきました。今後ともよろしく願いいたします。

図書館 実は会場後方に「ねりまふるさと紙芝居」を展示しています。ちょうど今お話しいただいた参加者の方が作成された作品です。素敵な紙芝居です。

利用者 ありがとうございます。練馬のお話を知らない方が多いんですね。練馬に伝わるお話を、子ども・大人、年齢に限らず知ってもらいたい、という想いで活動しています。練馬大根、照姫物語などは多少アレンジを施しながら再話で制作しています。

図書館 それでは、お時間が終了時刻に近づいてまいりましたので、第一部はこれで終了とさせていただきます。冒頭にお話しましたとおり、令和8年が平和台図書館開館50周年にあたる記念の年となります。ぜひ地域のみなさまが、図書館を活躍の場として盛大に盛り上げてくださいますことを期待しております。また連携事業に限らずに、図書館で知り合った、つてができた、など人と人をつなげる機能も図書館の役割だと考えています。今回の懇談会はそんな想いを抱きながら実施いたしました。皆様お忙しい中貴重なお時間を頂きあり

がありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

図書館 第二部に参加される方は、参加者アンケートをお持ちになって、1階ロビーに移動をお願いします。第二部は15時15分から開始です。第一部でお帰りになる方は、参加者アンケートを回収させていただきます。よろしく願いいたします。

〔第一部終了〕

〔第二部開始〕

4 懇談

図書館 それではお時間となりますので、利用者懇談会の第二部を始めさせていただきます。第一部は地域連携というテーマで、割と堅い話を中心にお話しさせていただきました。第二部では、皆様が図書館を使っていて、こういったサービスがあったらいいな、このサービスはここが不便だな、など日頃思っている個人的なことをお聞かせください。まずは一般参加の方からお話を伺います。よろしく願いいたします。

利用者 平和台に住んでいます。2002年から住んでいます。元々春日町で生まれたらしいです。父の転勤で各地に居を移しましたが、生まれ故郷の練馬に住もうとの心持ちで、現在の平和台に落ち着きました。平和台って何か面白いな、と思っています。一般にあまり知られていないのですが…、色々なものが揃っていて非常に便利です。特に図書館に関しては、他の図書館に比べてもこれだけ設備が整っているところはないな、と思っています。私は勉強で使うことが結構多くてですね。あまり勉強で長く使ってはいけないのかもしれないけど…。もちろん本もたくさん使いますが。図書館に集まる人たちは、シニアの方も含めて本当に一生懸命勉強をしている姿を目にします。地域の学びの場として図書館が機能しているのだから、仕事で培った自分のIT関連のスキル・経験を活用した連携ができるといいな、と思っています。詳しくは、あとでアイデアを共有します。よろしく申し上げます。

図書館 ご利用ありがとうございます。閲覧席についてですが、今日も中学生さんの利用が多く、必死に勉強している姿は見ていて熱くなりますね。図書館の本もぜひ使ってもらって、閲覧席を活用いただければ、と存じます。

利用者 図書館の本もたくさん使っています。ありがとうございます。

利用者 下石神井に住んでいます。生まれは中野です。3歳から練馬区に住んで、70年

くらい住んでいます。図書館はほぼ毎日利用させていただいております。石神井図書館を多く利用し、南田中図書館も利用しています。

練馬区立図書館全体への要望は2点です。1点目は本の検索に関わる書誌情報の扱いについてです。小説はアンソロジーでも編者・テーマなどが書誌情報に入っていますが、一般の本や対談集だと、書誌情報が不十分な場合があります。全て確認したわけではありませんが。現物を見なくてもわかるよう、書誌情報を整備してほしいと思います。

2点目はCDの情報についてです。私はクラシックをよく聴くのですが、レーベル・指揮者・曲名などは出てきます。私がもう少しほしいなと思う情報ですが、例えば、カラヤンは日本に何回か来ているのですが、カラヤン日本公演最後のライブ録音など、一点一点に特色を出してもいいのだと思います。図書館なので商売っ気は出さないのかもしれないけれど…。今回偶然借りて、解説書を見て初めて知ったのですが。CDの情報に特色となる情報を付け加えてもらえれば、もっと利用が促進されるのではないかな、と思っています。

追加でもう1点平和台図書館に関する要望です。9月24日から平和台図書館でボランティアをしています。植栽作業や配架作業を行っています。図書館というのは文化の基地だと思うのです。中身も大切だけど、外見も大事だと思います。今はきれいになっていますが、例えば草がぼうぼうに生えていて、銅像が埋まってしまっているなどの状況は相応しくありません。外観にも配慮した方がいいのではないかと。私は練馬植樹推進会に所属しています。公園などで植樹・剪定などを行っています。その経験・力を活かしたいと思っています。平和台図書館も、他の図書館も外観にも配慮した方がいいのかな、と思います。

利用者 そのこの図書館中庭裏のスペースは、まだ草が茂っていますよね。管理は大変なんだな、と思いながら眺めています。

利用者 そのスペースには「りゅうのひげ」という植物を植えたら、雑草対策にいいのではないかと、と思っています。緑一色で見栄えもいいのです。または「たまりゅう」もいいと思います。株分けした苗を知り合いからもらえるかもしれないのです。確実に繁殖するかはわかりませんが、外観の対策をすることで、図書館としても格が上がるのではないかと、思います。

図書館 この間は、率先して採寸もまでしてくれて…。ご意見ありがとうございます。芝生のスペースは館の特徴で、立ち入りが出来たら、もっといいのにな、と思っています。自由に立ち入りができるようにすると、芝が駄目になってしまう、と剪定業者さんからは説明いただいているのですが…。そのあたり芝生の管理については、城北中央公園さんにご意見いかがでしょうか。

利用者 一概にそうでもないと思います。逆に踏んでもらった方がいい場合もあります。適度にですよ。

図書館 アドバイスありがとうございます。可能であれば、芝生エリアは立ち入り可能にしたいですね。あとはりゅうのひげ、たまりゅうを植えるか否か…。

利用者 駐輪場から入館する方は多いと思います。見られるところはきれいにした方が

いいです。きれいにして流石だな、とと思ってほしい。私もお手伝いできれば、と思っています。

図書館 検索の件は、件名に作者が入っていれば検索にかかると思います。たとえ十人いたとしても。確認はしてみます。ただし古いものだと…。

利用者 私も全部確かめたわけではないので。昭和なになに全集とかだと、情報が検索にかかるとはありますが、戦前なになに体系などはうまく中身が検索にかからないことがあるのです。

図書館 なるほど原因は推定できました。おそらく古い資料であるゆえのケースだと思われます。古い資料は書誌情報のデータ処理が古いままの場合が多いです。古いものを探しても、うまく検索にかからないこともあると思います。最近のものは件名にしっかり情報が入力されていることが多いです。併せて気をつけてほしいのが、入力する漢字です。著者の漢字が一文字違うなどで検索にかからないこともあります。正確に入れないと検索にかからない、というシステムの特徴があります。不便ではあるな、と私自身も思います。

あとは、CDの情報についての意見は、面白い着眼点だと思いました。発売年・演奏者・指揮者などの基本情報は入りますが、CDショップのような周辺情報については図書館で扱うデータに含まれていません。データの根本の話なので、なかなか改善は難しいことが想定されますが、確かに私自身も検索してそのような情報も入手できるのであれば、利用意欲がさらに沸くであろうな、と思いました。素晴らしい着眼点だと思います。ご意見ありがとうございます。

利用者 例えば、評価やランキングなどは、図書館の中立性の観点でまずいのでしょうか。先ほど例に出したカラヤン最後の来日公演などは事実ですね。内容的には載せていいのではと思いますが、事情があるのですね。

図書館 そうですね。本のデータに対しては文学賞など情報を追加することがあります。対してCDデータは詳細情報の追加というのは出来ないのが現状です。申し訳ございません。貴重なご意見ありがとうございます。

利用者 細かい要望ではありますが、高齢者の方にとって、（本の）字の大きさは問題になってきます。字の読み方も忘れて、読みにくいといこともあるので、フリガナを振ってあるなど配慮があるといいと思います。

図書館 そういった方向けに、図書館には大活字本というものをご用意しております。また拡大鏡などの読書補助具も貸出をしています。施設の利用者の皆様にもぜひご周知ください。

図書館 1階大活字本コーナーから見本を持ってまいりました。こちらは話題になった小説ですが、かなり字が大きく印刷されているのがおわかりかと思います。文字を大きくしている分、分冊処理されていて、冊数が多くなったりするのですが…。

図書館 こちらは読書補助具の拡大鏡、リーディングトラッカー、カラーバーループです。聞きなれない言葉だと思いますが、定規のように本に器具を当てると、

文字が拡大され、ほんのり色が付き強調されます。自分がどこを読んでいるかを識別しやすくなります。貸出ができる物もあります。

利用者 これはカウンターに置いてあるのですか？

図書館 はい。紹介する掲示物がフロアにございますが、実物はカウンターで保管しています。ぜひお気軽にお試しになってみてください。

利用者 これ（大活字本）は、子どもでも読めそうですね。

図書館 実は、子ども向けの大活字本もあります。オンデマンド発注のため、なかなか目にする機会はないかと思いますが、図書館ではご覧になることもあるかと思えます。挿絵が少なくなってしまう場合があるなど、ネックもありますが。大活字本には、辞書や四字熟語辞典などもございます。

図書館 スマートフォンやLINEの使い方などは年齢に関わらず見やすいページ構成で人気ですね。大活字本は埼玉福祉会などが出版しています。

利用者 こんな本があることは知りませんでした。

図書館 平和台図書館の本の棚にあるだけでなく、練馬区全体で所蔵していますので、ご興味のあるものが見つかるといいな、と思います。

利用者 城北中央公園の近くに住んでいます。毎朝公園でラジオ体操を楽しむ人々の姿を目にしています。この前、平和台図書館のビブリオバトルに参加しました。一般参加者は私一人で、あとは図書館スタッフの方々でした。こんなものなのかな、と思いましたが、この懇談会のように利用者同士の顔が見える機会というのは貴重だなと感じます。開館50周年の記念企画として、地域の皆様のご自身の好きな・得意な分野で、自分で何ができて、何がやりたいか、という情報を集約して、事業の実現にあたってほしいと思います。高齢者、児童、障害者、女性などの垣根を越えた連携があったらいいのではないのでしょうか。

またせっかくこういった場があるのだから、お互いにオープンな空間設計をしてはいかがかと思います。イベントの飛び入り参加も歓迎、子どもが遊んでも構わない、お互いが顔が見える関係で、というようなよりオープンなロビー活用を考えてもらってもいいのではないのでしょうか。先日テレビ番組で、話題の図書館として金沢と岐阜の図書館の事例が取り上げられていました。境目がない、ゾーニングを駆使し声を出しても大丈夫なエリアがある、という新しい図書館の潮流を感じました。平和台図書館でも、ぜひ皆様の経験・アイデアで、人の顔が見える空間であったかい情報が手に取れる、という空間創出をしてほしい、と思います。

図書館 ありがとうございます。素晴らしいご提案です。1階フロアについては、ロビーを筆頭にフロア全体を会話を許容する方向で運用変更を考えています。一方で静かに利用したい方向けの環境もしっかりと整備して、1階と2階ですみ分けしていきたいと考えています。2階こどもコーナーは、児童・保護者で会話にも気兼ねなく使える環境としてすでに認知されつつあります。対して1階フロアは、まだその認知はなく、発話するお子様をたしなめる保護者

の方の姿も間々見受けられます。「図書館は静かに使うもの」というイメージはまだまだ一般的なものだと感じます。そのイメージを刷新するためにも、この利用者懇談会をあえてオープンスペースのこのロビーで実施したり、ロビーでコンサートを企画したり、と実績を積み重ねているところです。

**利用者
図書館**

ロビーでのコンサート、すごく良かったです。
ありがとうございます。また皆様のお話を聞いていて、常設であるか否かもひとつポイントであると感じました。地域包括支援センターの皆様にはアドバイスを頂き、ロビーに常設のオレンジコーナーを設置するなどを計画しています。ただ認知症関連の本を置くだけでなく、例えば囲碁の盤を設置し、人と人の交流スペースとなるような工夫を取り入れるなど、今までの図書館とは違う使い方を、場を整えることで、提案していきたいと考えています。

利用者

失敗してもいいのですよ。情報というのは本だけを指すわけでないと思います。図書館に何を求めているのかを共有していきましょう。利用する人々は、本を読みたいのか、何を求めているのかを聞き取ってこの空間にみんなの想いをのせて運営してほしいです。いい所も悪い所もみんながざっくばらんに声を出していくことが大事だと思います。昨日よりは今日、今日よりは明日と、試行錯誤しつつ、出来るところから、少しずつやってみるのがいいと思いますよ。

図書館

ありがとうございます。引き続き見守りいただき、叱咤激励いただきたいと思えます。よろしく願いいたします。

利用者

(この懇談会が)ひとつのきっかけになったからね。こういう機会にね。

利用者

2年半前に図書館の近くに住みたいくて、錦に引っ越して来ました。時間に余裕があるので、図書館や児童館で何かボランティアができないか、と思い、参加しました。

図書館

ありがとうございます。

利用者

いまブックスタート運営スタッフの募集をしています。特に日曜日に入ってもらえる方はすごく嬉しいです。

利用者

愛知出身で、光が丘に住み、現在錦と、転居が多いことと、体調が芳しくない時もあることと心配なこともあります。それでもよろしければ、検討してみたいです。

利用者

ありがとうございます。ぜひよろしく願いいたします。まず光が丘図書館を通して説明会などがございますので、詳しくはねりま区報の記事をご覧ください。

利用者

そうですね。そういうのがちょっと…、体調が悪くて行けなくなってしまうと…。

利用者

その際は、館長に相談いただければいいかと。お近くの方は、とても嬉しいです。

利用者

歩いて来られる距離ですね。検討してみます。

利用者 今日とは色々な皆様のお話を聞けて勉強になりました。私は要望というか、希望なのですが…。今の社会状況を考えて、図書館としての図書の選定については、権力に左右されないような選定をしてほしい。あと良い本は絶対に残してほしい。ここの所心配だなあ、と思うところもあります。いつの間にか戦争する国になってしまうの？という気持ちになることもあります。子どもたちのためにも、公平な選定をしてほしいと思います。図書館っていろんな出会いがあると思っています。なるべく作家を応援したいので、本は自分でも購入するようにしています。図書館の本はその参考に活用したりしています。作家の方達は、実はけっこう貧乏なのですよね。良い本を書いている人ほど…。私も陰ながら良い作家の方たちを応援したいな、と思っています。以上です。

利用者 いまちょうど特集（2階一般展示）で、岩波ブックレットを展示してくれています。さきほど見せてもらったら、読みたい本がいっぱいありました。特集展示コーナーはいつもちらっと見えています。

利用者 確かに、あそこの展示はいいですよ。
図書館 ありがとうございます。ブックレットは薄いので、棚に入ってしまうと埋もれてしまうんですよ。特集展示のように、面出しすると、タイトルが自然に飛び込んでくるのでいいですよ。表紙は地味ですが、内容はいいので…。今日はお帰り際には、2階一般展示コーナーと大活字本コーナーを見てもらえたら嬉しいです。

利用者 この場って、なんとなくテレビの座談会のようなですね。お客さんがいて、コメンテーターがいて。お客さんが見られる形の座談会…。ここでオープンに話している雰囲気は他の館内の利用者にも影響して、全体として図書館としての空気が醸成されたら、いいなと思いました。

図書館 ありがとうございます。小規模でも定期的に、このような機会は設けたいね、と職員間でも話しています。

図書館 日頃から職員には、ぜひお気軽にお声かけくださいね。

利用者 サテライトステージの雰囲気、だれもが参加できるオープンな空間…。今日はそんな感じの空間ですね。

利用者 北町はるのひ地域包括支援センターです。いま多世代交流をひとつの目的として施設運営をしています。児童館のハロウィンイベントのスタンプラリーで連携したり、近隣の保育園の園児が来てお菓子を渡したりとか…。ケアカフェは65歳以上の利用者が対象なのですが、年齢の垣根を越えて事業を実施したいと考えています。児童館の子どもたちは、ケアカフェは入っていけない場所として認識しているようです。夏場は給茶機の中身をスポーツドリンクに変更して、飲水を促すなど、高齢者・子どもに限定せず、広い範囲に利用してほしい、というスタンスに変わってきています。高齢者の手を動かすワークショップにしても、従来の手芸だけでなく、折り紙など子どもも参加で

きる内容で実施を計画するなど、年齢の垣根を越えた取組をしています。図書館に来ると、勉強目的で来館する多くの青少年の姿を目にします。すぐに2階に行ってしまうのは、少しもったいないかな、と感じます。このスペースを活用して世代交流を促す取組をしたらいかがかな、また子どもたち世代から「どういった図書館にしたいか」について意見を聞き取るようなディスカッション企画があってもいいのかな、と今話を聞きながら思いました。そういう風に少しずつ良い図書館にしていってもらえたら、また地域の子どもたちをその地域の大人たちがしっかりと見守れる、というようなつながりを持ってたらいいいのかなと思いました。

利用者 練馬区子ども読書活動推進計画（第五次）を策定する際に、子どもたちにヒアリングしたのですが、「図書館ではお話ししたい」という声が多かったようです。最近はお子さんの意見を聞こうという流れが加速しているので、ぜひ図書館運営にも反映してもらえたら、と思います。

利用者 私も多世代交流ってすごくキーワードだと思います。私は62歳なのですが、ITに関わってきた関係で、けっこう新しいことを得られているんですね。今AIがわかる／わからないで、僕らも若い世代も子どもたちも人生が変わるくらいの変化がここ半年・一年くらいで起きています。せっかく知の交流の場があるので、知見を持っている人がたくさんいると思います。そういった人たちが、この場を使って、勉強会のようなことを常にやっているという状況が生まれたらいいですね。そうすればいろんな人が来ると思います。平和台はすごくいい所なので、若い世代もどんどん入ってきているんですよ。練馬区全体もそうですね。平和台図書館はパソコンスペースもあるし、勉強するスペースもあるし、本もいっぱいあるし、とても恵まれた環境ですよ。行くとか何かを得られる場があります。例えば私が何か出来るとしたら、AI関連の支援が出来ると思います。最近のChatGPTとかよくわかんないと思うんだけど、すごく簡単で身近なことが沢山できます。そういったことを教えることができると思います。さっきの紙芝居でも、ここにデジタルサイネージを置くだけでも、すごく変化を起こせると思います。良いものは図書館にすでにたくさんあるので、あとはやり方かなあ、と感じました。

利用者 私も紙芝居をよく実演しますが、子ども対象、大人対象と区分けして実演する傾向が強くなっているように感じます。結果として、集客が難しくなったり、広がりには欠けたり、とデメリットも感じます。子ども向けの中にも大人が楽しめる折り紙を入れてみたり、大人向けの中にも手遊びの要素を入れてみたりとか、もっと多世代に向けた色々な工夫ができると思います。練馬区などの地域性というひとつの枠組みのなかで、年齢構成に関係のない幅広い参加者層を見込んだスタンスがあってもいいように感じますね。

利用者 私も皆様の意見に賛成です。私は先ほどお話ししたように、練馬植樹推進会に所属していて、練馬区憩いの森などを舞台に環境保全活動を行っています。それは地域コミュニティの場としても機能しているんですよ。人の関係が希薄になる昨今、図書館の地域コミュニティの機能は大切だと感じます。一

人でいたい時もあるし、みんなと話したい時もあると思います。そんな地域の人々の居場所として図書館が機能することを期待しています。クーリングスポットなども関連する取組だと思えます。

利用者 来年ちょうど開館50周年ということなので、これだけいろんなことが出来る人たちが集まったわけなので、1週間くらいの期間設定で、大型企画を立ち上げることができるのではないのでしょうか。紙芝居あり、おはなしあり…。図書館に企画してもらって、そこでみんなが顔を合わせて、力を合わせて実施できるのではないかと。ふるさと紙芝居も大活字本も結構知らない方もいるんですよ。あと布の絵本の展示会もまた実施してほしい。以前平和台図書館でやったのを見たのですが、あれはすごかった。

図書館利用者 タペストリーを12か月分いっせいに並べるなど工夫しましたね。フェスティバルならではの企画として、盛大に盛り上げてみては、と今日思いました。

利用者 記念事業は日程的なものは決まっているのですか？

図書館 来年度内の実施を考えています。すでに準備に着手しているのが、50周年記念誌の素材づくりです。地域の皆さまの活動紹介・お話を掲載したく、準備を進めております。厳密には7月1日が開館記念日なので、6月・7月・8月・9月あたりが最適かと考えています。

利用者 そうするとすぐですね！

利用者 既に事業計画は作成されているのではないですか？

図書館 まだ計画は作成されていません。

利用者 夏は暑さが厳しくなりそうですし…。昔は夏休みが多かったのですが、今ぐらゐの季節がいいですかね。

図書館 来年度はフェスティバルの中で懇談会をする！と。

利用者 そういうスタンスがいいのではないですか。せっかく素材があるので、いいものを集めて、みんなで作りました！など素晴らしいじゃないですか。

利用者 懇談会というと、硬くなっちゃうよね。楽しみながら、やるのがいい。植樹推進会も楽しみながらやっています。人間楽しくないと、苦痛でやっても仕方ない。楽しみながら、社会も良くなれば一番いいのではないかと。

利用者 フェスティバルですね。お祭り！

利用者 50周年ってなかなかないんですよ。

5 平和台図書館長挨拶

ぜひ皆様、1年後にこの場でお会いしましょう！！主役は、今回参加されたような地域の皆様だと考えています。場を、環境を整えるのは図書館の役割であるという心持ちです。地域住民の方が主役で、その活躍する場所のひとつとして図書館が機能するよう運営をしてまいりますので、これからもお力添えよろしく願いいたします。本日のご参加ありがとうございました！

〔第二部終了〕